

# 令和4年度 第13回全国高校選抜スピードスケート競技会

## 要 項

2022年10月12日  
2022年12月5日修正

1. 主 催 公益財団法人日本スケート連盟（以下「本連盟」という。）
2. 共 催 公益財団法人全国高等学校体育連盟（以下「全国高等学校体育連盟」という。）  
帯広市 帯広市教育委員会
3. 後 援 スポーツ庁 北海道 北海道教育委員会 公益財団法人北海道スポーツ協会  
北海道高等学校体育連盟 帯広市スポーツ協会 帯広商工会議所  
一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 一般社団法人帯広観光コンベンション協会
4. 主 管 一般財団法人北海道スケート連盟 公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部  
北海道高等学校体育連盟スケート専門部（運営主管：帯広スケート連盟）
5. 会 場 明治北海道十勝オーバル（帯広の森屋内スピードスケート場）  
北海道帯広市南町南7線56番地7 帯広の森運動公園内 TEL:0155-49-4000  
※競技会開催中に競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。
6. 競技距離 女子：500m 1000m 1500m 3000m マススタートレース(10周)  
男子：500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(10周)
7. 競技日程  
2月24日(金) 監督会議 12:30（明治北海道十勝オーバル2階会議室）  
公式練習 13:00-13:50、14:00-14:50、15:00-15:50、16:00-16:40  
（各セクションとも、開始20分後から20分間スタートトライアルを実施）  
2月25日(土) 開場 7:30  
公式練習 8:00-9:00  
競技開始 9:30 ①男子5000m ②女子1500m ③男子1500m ④女子500m  
⑤男子500m  
公式練習 競技終了後30分間  
2月26日(日) 開場 7:30  
公式練習 8:00-9:00  
競技開始 9:30 ①女子3000m ②男子3000m ③女子1000m ④男子1000m  
⑤女子マススタートレース ⑥男子マススタートレース

※ 競技日程は、参加者数により変更する場合がある。

## 8. 競技方法

- (1) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟規則（以下「ISU規則」という。）、本連盟競技規則及び全国高等学校体育連盟スケート専門部規定に従って実施する距離別競技会とする。
- (2) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マススタートレース（以下「MSR」という。）ではアップレーンを含む全面を使用する。
- (3) 1000m以上の距離はカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (4) 各距離（MSRを除く）の組合せ及び滑走順は以下のとおりとする。以下に定めのない事項についてはISU規則第239条2項に従う。
  - ① 各距離における2022年3月31日時点の高地リンクを除く前年度記録または、本競技会参加申込締切日以前に終了した公式競技会の記録のよい方の記録によって順位付ける。同タイムの場合は抽選による。
  - ② 両方にタイムのない者は、上記①の最下位に続けて、抽選により順位付ける。
  - ③ 各距離（MSRを除く）において同時に滑走する競技者は、上記①によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせ、スタートレーンは上位の者をインレーンとする。
  - ④ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
  - ⑤ 組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第245条1項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
- (5) 最終順位は、ISU規則第265条、第268条、及び第275条に従って決定する。
- (6) MSRの競技方法はISU規則第257条に従い安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）、脛当て、手袋、ネックプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツはカットレジスタンスであることが望ましい。（詳細はISUコミュニケーションNo.2477を参照）参加競技者は1校2名以内で30名を上限とし、並び順は抽選で行いスタートは横1列6人で配置する。エントリ一数が30名を超えた場合は、1500mランキング上位の者から出場を認める。この場合、詳細は全国高等学校

体育連盟スケート専門部及び、本競技会実行委員会で決定し監督会議で報告する。2回の中間スプリントと最終スプリントを設定する。最終順位は中間と最終のスプリントポイント合計により、続いてフィニッシュ順に従って決定する。以下、ISU規則第265条6項を適用する。

~~(7) 各距離（MSRを含む）6位以内の者は、当該距離について次年度の全日本選抜スピードスケート競技会の参加資格を得る。~~

9. 表彰 各距離（MSRも含む）とも1位から3位までの者にメダル及び賞状を、4位から6位の者に賞状を授与する。

#### 10. 参加資格

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であって次の各号に該当する者。
  - ア) 都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であって、都道府県スケート連盟を通じて本連盟に登録している者。
  - イ) 2005年4月2日以降に生まれた者（特例として中国等帰国生徒については適用しない。）とする。ただし、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
  - ウ) 同一学校であっても、全日制、定時制、通信制の課程はそれぞれ別のチームとする。
  - エ) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - オ) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
  - カ) 出場する者はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (2) 引率者は、学校長が認める当該校の職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、部活動指導員や学校長が依頼した他校の職員が引率できるものとする。部活動指導員が引率する場合は、都道府県高等学校体育連盟に提出した届の写しを申込と同時に実行委員会に提出しなければならない。また、引率者は参加者のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) 監督・コーチは、当該学校長が認める指導者とする。ただし、部活動指導員と外部指導者の場合は、スポーツ安全保険等の賠償責任保険に必ず加入していることを条件とする。
- (4) 参加資格の特例
  - ア) 前項10.(1)イ) に定める生徒以外で大会参加基準を満たし、かつ所属都道府県高等学校体育連盟が推薦する生徒にあつては、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  - イ) 前項10.(1)イ) のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技2回までとする。

#### 《全国高等学校体育連盟大会参加の別途定める規定》

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア) (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ) 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校および各種学校にあつては、年齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ) 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - エ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導の下に適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていないこと。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア) 全国高等学校選抜スピードスケート競技会開催基準要項を遵守し、競技種目の大会申し合わせ等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ) 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて損害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ) 大会参加に要する費用については、応分の負担をすること。

## 11. 出場制限

- (1) 男女とも1名2距離以内（MSRを除く。）とする。MSRのみの出場は認めない。
- (2) 出場する者のほか、監督及びコーチは各1名以内とする。
- (3) 外国人留学生にあつては、1校男女各1名以内とする。
- (4) 本連盟スピードスケートバッジテストB級（スピード、ショートを問わない）以上の資格取得者であること。
- (5) 10.(1)イ)により、学年制の場合は2年生以下とする。

## 12. 参加申込

- (1) 全国高等学校体育連盟スケート専門部ホームページ (<http://zenkokuskate.main.jp/>)から、参加申込書（様式-1・様式-2-F・様式-2-M）をダウンロードし、注意事項を熟読したうえ記載すること。

ア) 参加申込書は下記に郵送するとともに、学校名で電子データも併せて送信すること。この場合、必要のないシート（記入上の注意など）は削除しないこと。

〒083-0003 北海道中川郡池田町清美ヶ丘13番地 北海道池田高等学校内  
第13回全国高校選抜スピードスケート競技会実行委員会 宛  
TEL : 015-572-2663

E-MAIL : [ryo-yamazawa@hokkaido-c.ed.jp](mailto:ryo-yamazawa@hokkaido-c.ed.jp) (北海道高体連スケート専門部十勝支部)

イ) 前記の参加申込に加え、参加申込締切までに日本スケート連盟マイページの競技会参加申込サイト (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)でも参加申込みを行うこと。

ウ) 参加申込に際して登録個人情報にPCメールアドレス、携帯メールアドレスの両方又はいずれかにアドレスが入力されていることを確認すること。いずれも入力されていない場合は、メールアドレスの変更から入力しておくこと。

エ) 参加申込完了直後に参加申込者の登録されたメールアドレスにサイトから自動送信される参加申込受理の通知（以下「受理通知」という。）を受けること。受理通知が送付されない場合は、システム問合せ先に問合せること。また、メールアドレスを登録していない者は、マイページで正常に申込みがなされたかを確認すること。受理通知は最初の代表者会議が終了するまで保管しておくこと。

オ) 参加申込前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合もイ) 同様に受理通知を受け取り保管すること。（サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。）

カ) 前記ア)、イ) それぞれの参加申込内容に相違があった場合は、前記ア) の参加申込書の内容により以降の処理を行うものとする。

キ) 参加申込締め切り後に参加を取り消す場合は、必ず大会事務局へ棄権届出書を提出すること。

- (2) 参加申込料等の諸費用は、参加校申込責任者が、実行委員会の銀行口座に学校名で直接送金すること。振込手数料は申込者の負担とする。

ア) 参加申込料 1名 1距離につき 4,000円（MSRを除く）

イ) 振込先 金融機関： 帯広信用金庫 東支店  
口座番号： 普通 0182322 (ホソカワ ヨシヒロ)  
名義： 全国高等学校選抜スピードスケート競技会 委員長 細川吉博

- (3) 参加申込締切 2023年1月26日(木) 正午 ※受付開始：2022年12月7日(水)

工) 参加申込締切後は、いかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟又は全国高等学校体育連盟又は実行委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

オ) 上記工)のただし書きに該当する者の振込手数料は主催者の負担とする。

- (3) 参加申込が遅延した者、又は参加申込が不完全な者（日本スケート連盟マイページ競技会参加申込サイトで参加申込をしていない場合を含む）は本競技会への参加を認めない。

- (4) 参加申込にかかる個人情報は、個人情報の保護に関する法律・関連法令を遵守し、競技運営以外の目的には使用しない。

## 13. 宿泊 各校・各チームで手配すること。

## 14. その他

- (1) 本連盟の「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。

ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ① 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等から帰国した場合

- イ) マスク（不織布が望ましい）を持参すること。
  - ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
  - エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（2mを目安に：最低1m）を確保すること。
  - オ) 競技会開催中は大きな声で会話、応援等をしないこと。
  - カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
  - キ) 本競技会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
  - ク) 本連盟は本競技会に関わるすべての人の新型コロナウイルス感染症に対するいかなる責任も負わない。
  - ケ) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大状況によっては、大会の中止もあり得る。
- (2) 大会期間中の輸送は、公共の交通機関を利用するものとする。
  - (3) 本競技会全日程中の事故等については、応急処置のみとし責任は負わない。
  - (4) 大会参加選手にプログラム1部を配布する。
  - (5) 本競技会の各距離（MSRを含む）6位以内の者は、当該距離について来年度の全日本選抜スピードスケート競技会の参加資格を得る。